

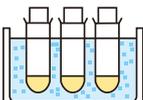
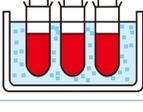
項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血液凝固検査	0432 フィブリノーゲン <small>2B100-0000-022-311</small>	血漿0.2	23	(分離後)凍結	1~2	23血液	トロンビン法	mg/dL 200~400	3.2%クエン酸ナトリウム液入り容器に血液を正確に入れ良く混和。 3000rpm,10分遠心。血漿を分離して、凍結または冷蔵保存したものを提出して下さい。凝固やフィブリン析出の場合は検査不能となります。	脳梗塞 心筋梗塞 感染症 悪性腫瘍 DIC
	0411 プロトロンビン時間 (PT) <small>2B030-0000-022-311</small>	血漿1.0		(分離後)凍結		18 ^① 血液	Quick一段法	凝固時間 11.0~13.0秒 活性値 80~120% INR 0.9~1.1		外因系及び共通系凝固因子の先天性欠乏症及び分子異常症 重症肝障害 DIC 抗凝固療法のモニター
	0415 トロンボテスト (TT) <small>2B035-0000-022-311</small>	血漿1.0		(分離後)凍結		18 ^① 血液	凝固法	% 70~100		抗凝固療法のモニター
	0414 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) <small>2B020-0000-022-311</small>	血漿1.0		(分離後)凍結		29血液	エラグ酸活性化法	秒 25.0~40.0		内因系及び共通系凝固因子の先天性欠乏症及び分子異常症 重症肝障害 DIC 高リン脂質抗体症候群
	2361 血小板第4因子 (PF4) <small>2B620-0000-022-023</small>	血漿0.3	27	(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~7	178血液	EIA法	ng/mL 20以下	必ず専用容器にて採取 下記参照のうえ操作は厳守のこと <small>*02</small>	DIC 血栓症 腎不全 血小板減少症 骨髓増殖性疾患
	5359 β-トロンボグロブリン (β-TG) <small>2B600-0000-022-023</small>			(分離後)凍結 (1ヶ月)		177血液		ng/mL 50以下		

①プロトロンビン時間PTとトロンボテストを同時に施行した場合は主たるもののみ算定する。

$$INR = PR^{ISI} \quad (INR \text{ 計算式}) \quad PR \text{ (プロトロンビン比)} = \frac{\text{患者血漿のPT値 (秒)}}{\text{正常血漿のPT値 (秒)}}$$

ISI:トロンボプラスチン試薬の国際感度指数

β-トロンボグロブリン (β-TG)、血小板第4因子 (PF-4) の採血方法

容器形態	検査項目	保存	採取方法	注意事項																										
 <p>27</p> <p>(真空採血禁止)</p> <p>内容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸</p> <p>貯蔵方法 遮光・冷蔵</p> <p>有効期間 1年</p>	β-トロンボグロブリン (β-TG)	凍結	 <p>あらかじめ専用容器 (27) を冷却しておいてください。</p>	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。																										
			 <p>できるだけ20ゲージ (19~21ゲージでも可) の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器 (27) を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)</p>	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、止血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																										
			 <p>針を取って静かに専用容器 (27) のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回反転倒混してください。</p>	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																										
			 <p>専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。</p>	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																										
以上の操作を2分以内に行なってください。																														
	血小板第4因子 (PF-4)		 <p>砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2,000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2,000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) *遠心器回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心器のローター半径 (cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)</p>	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																										
		 <p>上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで各0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。(血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。(1ヶ月安定)</p>	<p style="text-align: center;">換算表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4,200</td> <td>22</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3,800</td> <td>24</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3,500</td> <td>26</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3,300</td> <td>28</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3,100</td> <td>30</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4,200	22	2,800	12	3,800	24	2,700	14	3,500	26	2,600	16	3,300	28	2,500	18	3,100	30	2,400	20	3,000	
半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)																											
10	4,200	22	2,800																											
12	3,800	24	2,700																											
14	3,500	26	2,600																											
16	3,300	28	2,500																											
18	3,100	30	2,400																											
20	3,000																													



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準 値	提出条件 ・ 備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名	
2351	凝固因子第2因子 2B350-0000-022-311	血漿各0.3 速やかに遠心	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	229 血液	凝固時間法	75~135	※02	先天性プロトロンビン欠乏症 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症 肝不全 DIC	
2352	凝固因子第5因子 2B370-0000-022-311							70~135			先天性第V因子欠乏症 先天性第V因子・第VIII因子合併欠乏症 肝不全 DIC
2353	凝固因子第7因子 2B380-0000-022-311							75~140			
2354	凝固因子第8因子 2B390-0000-022-311				3~6	229 血液	ヒト欠乏血漿による補正法	78.0~165.0	※01	血友病A 血友病A保因者 von Willbrand病 DIC	
2355	凝固因子第9因子 2B400-0000-022-311				3~5	229 血液	凝固時間法	70~130	※02	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	
2356	凝固因子第10因子 2B410-0000-022-311							70~130	※02		先天性第X因子欠乏症 DIC 肝不全 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症
2357	凝固因子第11因子 2B420-0000-022-311							75~145	※02		
2364	凝固因子第12因子 2B430-0000-022-311							229 血液	凝固時間法		50~150
2385	凝固因子第13因子抗原量 2B440-0000-022-062	3~4	229 血液	ラテックス凝集反応	70~140	※01	先天性第XIII因子欠乏症 肝不全 DIC				
2358	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第8因子 2B460-0000-022-311	血漿1.0 単独検体	23	(分離後)凍結	3~6	152 血液	Bethesda法	1.0 以下	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※01	補充療法を受けた 血友病A患者の一部	
2359	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第9因子 2B470-0000-022-311	血漿1.0 単独検体	23	(分離後)凍結	3~6	152 血液		1.0 以下			補充療法を受けた 血友病B患者の一部
5423	vW因子抗原定量 (フォン・ウィルブランド因子抗原定量) 2B450-0000-022-062	血漿0.2 速やかに遠心	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	155 血液	ラテックス凝集反応	50~155	※02	von Willbrand病 腎疾患 慢性肝炎 川崎病急性期 肝硬変	
1134	vW因子活性 (フォン・ウィルブランド因子活性) 2B480-0000-022-316	血漿0.3 単独検体						(分離後)凍結	3~6	136 血液	固定血小板凝集法

① 区分番号「D006」出血・凝固検査「20」の凝固因子インヒビターは、第VIII因子又は第IX因子の定量測定を行った場合に、それぞれの測定1回につきこの項で算定する。

血液学的検査



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
0427	プラスミノゲン活性 (PIg) 2B260-0000-022-315	血漿0.5 速やかに遠心	23	(分離後)凍結	3~5	100 血液	発色性 合成基質法	% 75~125	※02	先天性プラスミノゲン欠損症・異常症 DIC 重症肝障害 抗凝固療法 血栓症	
0442	アンチプラスミン活性 (α2プラスミンインヒビター) 2B270-0000-022-315	血漿0.5 速やかに遠心		(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~5	131 血液	発色性 合成基質法	% 85~115		先天性α ₂ -PI欠損症・異常症 DIC 肝硬変症 肝癌 出血傾向 線溶亢進	
3312	アンチトロンビンⅢ (AT-Ⅲ) 2B200-0000-022-315	血漿0.3		(分離後)凍結	1~2	70 血液	合成基質法	% 80~130		先天性ATⅢ欠乏症・異常症 DIC 肝硬変症 静脈血栓症 肝炎 心筋梗塞	
3313	血中総FDP 2B120-0000-022-062	血漿0.3	23	(分離後)凍結	1~2	80 血液	ラテックス 免疫比濁法	μg/mL 5.0以下	※01	DIC 血栓性血小板減少性紫斑病 血栓症 溶血性尿毒症症候群	
0430	尿FDP 2B120-0000-001-062	尿1.0 (蓄尿不可)	11	冷蔵	3~5	72 尿糞	ラテックス 凝集法	μg/mL 0.1以下		抗プラスミン剤とトロンビン入り容器に新鮮尿1.0mL採取し、容器のままご提出下さい。	DIC 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 妊娠高血圧症候群
5499	可溶性フィブリノモノマー複合体 (SFMC) 2B110-0000-022-101	血漿0.3 速やかに遠心	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	93 血液	凝集反応	陰性	※02	DIC 血栓症 凝固亢進	
4526	フィブリンモノマー複合体 (FM定量) 2B110-0000-022-062	血漿0.3		(分離後)凍結	3~4	233 ① 血液	ラテックス 免疫比濁法	μg/mL 6.1以下		※01	
1204	D-Dダイマー定量 2B140-0000-022-062	血漿0.3		(分離後)凍結	1~3	137 血液	ラテックス 免疫比濁法	μg/mL 1.0以下		血栓症 DIC 体内凝固亢進状態 大動脈瘤	
5495	α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC) 2B280-0000-022-062	血漿0.3		(分離後)凍結	3~4	162 血液	ラテックス 凝集法	μg/mL 0.8以下	※01	DIC等の線溶亢進状態 血栓溶解療法下の状態	
3249	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT) 2B210-0000-022-052	血漿0.4		(分離後)凍結	3~4	186 ① 血液	CLEIA法	ng/mL 4.0未満	※01	深部静脈血栓症 DIC 急性心筋梗塞 大動脈瘤	
2593	プロトロンビンフラグメントF1+2 2B170-0000-022-023	血漿0.3 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	193 ① 血液	ELISA法	pmol/L 69~229	※02	深部静脈血栓症 DIC 急性心筋梗塞	
0456	プロテインC活性 2B700-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	248 血液	凝固時間法	% 64~146	※02	先天性プロテインC欠乏症 DIC	
5215	プロテインC抗原量 2B700-0000-022-062	血漿0.3 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~6	246 血液	LPIA法	% 70~150	※02	肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与	
4963	プロテインS活性 2B710-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	170 血液	凝固時間法	% M 67~164 F 56~126	※02	先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害	
1101	プロテインS抗原量 2B710-0000-022-023	血漿0.2 速やかに遠心		(分離後)凍結 (21日)	3~7	162 血液	EIA法	% 65~135	※02	抗ビタミンK製剤投与 妊娠 経口避妊薬 (常時)	
4575	ループスアンチコアグラント 5G501-0000-022-311	血漿1.0 速やかに遠心		(分離後)凍結 (21日)	3~5	281 ② 免疫	希釈ラッセル 蛇毒時間法	1.3未満	注1	※02	原発性抗リン脂質抗体症候群 (APS) SLE 習慣性流産

- ① 区分番号「D006」出血・凝固検査「30」のフィブリンモノマー複合体は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。
 区分番号「D006」出血・凝固検査「30」のフィブリンモノマー複合体、「26」のトロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT) 及び「27」のプロトロンビンフラグメントF1+2のうちいずれか複数と同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ② ループスアンチコアグラント定量及び同定性は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

注1 … 採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。
 血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。
 ※遠心器回転数の計算式
 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$

r : 遠心器のローター半径 (cm)
 n : 1分間あたりの回転数 (rpm)

